⑩ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出顧公開

⑩ 公開実用新案公報 (U) 昭62-97629

Si)Int Cl 4

識別記号

广内整理番号

每公開 昭和62年(1987)6月22日

A 61 F 13/18

 $\begin{smallmatrix}3&2&0\\3&3&2\end{smallmatrix}$ 

6737-4C 6737-4C

審查請求 未請求 (全 頁)

部考案の名称

生理用ナブキン

顧 昭60-187699 包实

図出 顧 昭60(1985)12月5日

位书 案者 黑 田 英 男 川崎市多摩区長尾4-3-1

砂考 案 者 上野 雅可 **流山市野々下5−1070−80** 

ライオン株式会社 空出 願 人

東京都墨田区本所1丁目3番7号

硷代 理 人 弁理士 林

外2名 宏

- 1. 考案の名称
  - 生理用ナプキン
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- 3. 考案の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本考案は生理用ナプキンに関し、さらに詳しくは、経血の横漏れ防止効果が高く、且つ使用感に

優れた生理用ナプキンに関するものである。

[従来の技術]

従来より公知の生理用ナプキンとして、第4図に示すように、吸収体1の上面を透水性シート2で被覆すると共に、吸収体1の下面及び両側面を非透水性シート3で被覆し、両シート2、3の折返し部2a、3aを互いに接合することによって吸収体1の上面側端部にフラップ4、4を形成したものがある(例えば実開昭58-18520号公報参照)。

かかる構成の生理用ナプキンは、吸収体1の上面を横方向に流れた経血を上記フラップ 4,4 により受け止めるようにしたもので、横漏れ防止という点においてはそれなりの効果を有している。

しかしながら、上記吸収体1の回りを被覆する 非透水性シート3は、通常紙にポリエチレンをラ ミネートすることによって構成されており、ナプ キンの使用時にフラップ4においてこの被透水性 シート3が直接肌に接触するため、ごわごわした



違和感を生じ、フィット性や肌触りにおいて問題 があった。

[考案が解決しようとする問題点]

本考案の課題は、上面側端部にフラップ部を有するタイプの生理用ナプキンにおいて、着用時の肌触りを良くしてフィット性や使用感の向上を図ると共に、フラップ部のよれやめくれ等をなくして横漏れ防止効果の改善を図ることにある。



[問題点を解決するための手段]

#### [実施例]

以下、木考案の実施例を図面に基づいて詳細に 説明するに、第1図及び第2図において、10は吸 収体を示し、この吸収体10は、吸収紙、紙綿、粉 砕パルプ、吸水性ポリマー等の吸収性材料の1種 又は2種以上を、必要に応じ混合した後、所要の





経血吸収力を示すように積層したもので、吸収性 材料として吸収紙を用いる場合には、ナプキンの 長さ方向にクレープ状の微を施してあるものが好 ましい。

上記吸収体10は、その回りを被透過性内被材11によって被包されており、該内被材11の外側には、外面を被透過性外被材12で覆われた防漏材13が、吸収体10の下面から側面及び上面側端部にかけて被着され、上記液透過性外被材12の端部12aは、吸収体10の上面側端部においてフラップ部14、14を構成する防漏材13の端部13aを包み込むように折り返され、該防漏材13と上記液透過性内被材11との間に挟入されると共に、吸収体10の下面側に巻き込まれており、これらの外被材12と内被材11とは、フラップ部14、14の先端部に複数ケ所設けられた接着点15において互いに接着されている。

上記液透過性内被材11及び外被材12としては、

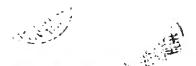


5

経血を透過させるのに十分な透孔を有するものであれば任意のものが使用でき、例えばレーヨン紙、不織布等が素材として挙げられる。そのうち不織布は、レーヨン、木材パルプなどの天然繊維、及びポリプロピレン、木材パルプなどの合成繊維から選ばれた繊維を原料にして、湿式法又は乾式法で製造される。

また、防漏材 13を構成する素材としては、通常、防水紙にポリエチレンフィルム、又はその他の合成樹脂フィルムをラミネートしたラミネート 紙が使用されるが、合成樹脂フィルムそのものを 用いてもよい。

なお、上記吸収本10の形状は、長方形に限るものではなく、例えば長楕円形や、第3図に示すように中間部がくびれたものなど、任意の形状とすることができる。即ち、第3図は吸収体10として中間部にくびれ部10aを有するものを使用した場合を示すもので、この実施例においては、吸収体



10を包む液透過性内被材 11、同外被材 12、及び防漏材 13等の被覆材を、ナプキンの前辺 A 及び後辺 B だけでなく、側辺 C における上記くびれ部 10 a 内においても、それぞれシール部 18によりシールしている。

上記構成を有する生理用ナプキンは、液透過性外被材11で防漏材13の外面が覆われているので、この防漏材13が直接肌に接触することによるごわいた違和感、特にフラップ部14における違和感がほとんどなく、着用時の肌触りが良好であると同時にフィット性も高く、使用感が非常に良好である。

また、上記生理用ナプキンの使用時に、吸収体10の上面を横方向に流れた経血は、該吸収体10の側端部でフラップ部14,14により受け止められ、ここで液透過性内被材11を通じて吸収体10に吸収されると共に、その一部が、液透過性内被材11と液透過性外被材12とにおける防漏材13の内側に位



1.

置する部分によって速やかに吸収体10の下部に導かれ、該吸収体10の側面及び下面からも吸収体10の側面及び下面が吸収は、広いの吸収体10による経血の吸収は、広いすが、ないの側端ができるようなできる。

さらに、ナプキンの側端部においては、吸収体10が内被材11と防漏材13を挟んで2重に折り返された外被材12とによって多重に被覆されると共に、これらの内被材11と外被材12とがフラップ部14の先端部において互いに接着されているので、ナプキンが一時に多量の経血を受けた場合のよれやフラップ部14のめくれ等が生じにくく、これによって横漏れ防止効果が大幅に向上することになる。

#### [考案の効果]

上記構成を有する木考案の生理用ナプキンによれば、次のような特有の効果を期待することができる。

- (a) 液透過性外被材で防漏材の外面を覆ったので、この防漏材が直接肌に接触することによるごわごわした違和感をなくすことができ、これによって着用時のフィット性及び肌触りを良好にすることができる。
- (b) 上記液透過性外被材の端部を、フラップを包むように折り返して防漏材の内側に挟み込むと共に、吸収体の下面側に巻き込んだので、ナプキンの横方向に流れた経血をこの巻き込み部分によって連やかに吸収体の下面側に導くことができる。
- (c) 吸収体を内被材と防漏材を挟んで2重に折り返された外被材とによって多重に被覆すると共



に、これらの内被材と外被材とをフラップ部の先端において互いに接着しているので、ナプキンが一時に多量の経血を受けた場合のよれやフラップ部のめくれ等が生じにくく、これによって横漏れ防止効果がより向上することになる。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本考案の生理用ナプキンの一実施例の外観図、第2回はその拡大断面図、第3回は本考案の別実施例の平面図、第4回は従来のナプキンの断面図である。

10 • • 吸収体、 11 • • 液透過性内被材、

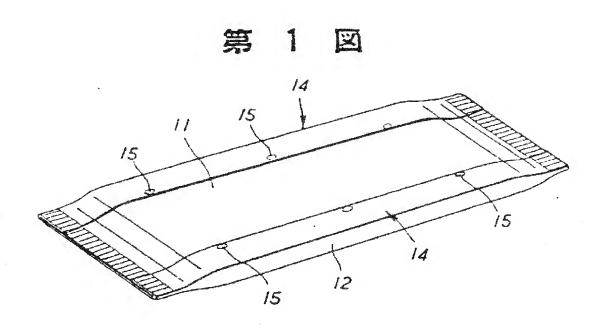
12 • • 液透過性外被材、 13 • • 防漏材、

14 · ・ フラップ部、 15 · ・ 接着点。

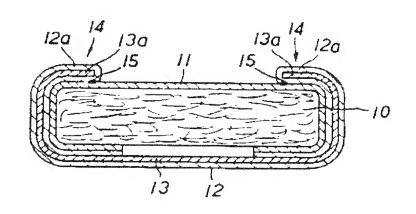
実用新案登録 ライオン株式会社

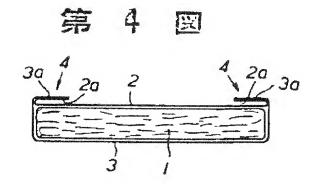
代理人弁理士 林 宏 學

(外2名)



# 第 2 図





264

